

留学先国名 : アメリカ合衆国

留学先学校名 : ハートフォード大学

留学期間 : 平成 27 年 1 月 17 日 ~ 平成 27 年 12 月 18 日

アメリカ合衆国のハートフォード大学で、コミュニケーション学の中でもメディアとジャーナリズムを学びました。学期中は、大学の寮で現地生徒の子たちと暮らしていました。春学期の寮は、少し特別で各階に違うテーマを持ったグループが住むところでした。私の階は、海外について知るということがテーマで、週に 1 回ミーティングがあり、毎回ゲームやプレゼンテーション、そしてグループディスカッションを通して、色々な国の文化などを知ることができました。さらに、寮には各階に勉強ラウンジがあったので、友達と一緒に勉強を教えあうことをよくしました。寮に住むことにより、友達の輪を広げるとともに、アメリカ文化について友達から学ぶこともできました。さらに、ハートフォード大学には私を含めて 3 人ぐらいしか日本人がいなく、あとの 2 人は違う学部の為、会う機会がありませんでした。そのため、今まで経験してきた留学とは異なり、カルチャーショック等があっても同じように共有できる人がいなくて困ることはありました。しかし、現地の友達にこのことを話すと、理解してくれました。何か問題があれば、解決策を一緒に考えてくれて、とても助かりました。

留学中に取り組んだことは、日本の文化、そして大阪について現地生に教えることです。大学に日本人生徒が少ないということもあって、日本のことについて、アニメ以外何も知らないという子をよく見かけました。そこで、春学期に住んでいた寮でのミーティング、留学に興味のある子たち、そして周りの友達に日本とアメリカ文化の違いや、大阪とはどんなところかということについて写真を見せながら教えました。お土産として、筆ペン、折り紙、そしてお箸を持ってきていたので、それらを使用して日本文化に触れてもらうこともできました。このおかげで、大阪に留学をしたいという子を何人か見つけることができ、日本画や日本建築についてのリサーチを授業で始めた子たちもいました。

春学期、秋学期を通して、コミュニケーションの授業を 3 つ、メディアの授業を 2 つ、音楽、コンピューター、広告、そして広報の授業を 1 つずつ履修しました。どの授業も留学生は私だけで、現地生ばかりでした。始めの方は、英語のスピード、ディスカッション、バックグラウンドの違いに戸惑い、授業になかなか慣れることができませんでした。しかし、教授のオフィスに行き相談をし、友達を各授業で 1 人以上作ることで、これらの問題を克服しました。メディアの授業では、アメリカのメディアの知識が少なく、授業のディスカッションに参加することが大変でした。この解決策として、授業前にトピックについての基礎を図書館やインターネットで事前に調べ、ディスカッションに備えました。さらに、友達にテレビ番組や新聞の情報を聞くことも助けとなりました。春学期からこの大学で留学をして、その学期の中旬から授業になれることができ、発言も積極的にすることができました。各学期の成績も思っていたよりも良く、授業で教授に教えてもらったこともしっかりと覚えていて、実践ができるくらい身につけることができました。日常生活においても、ワードなどコンピューターの授業で習ったことを活用でき、さらに人と話すときには、どのようにコミュニケーションをとるか考えるようになりました。

この留学で得たことを、将来の仕事に活かし、そして留学を考えている人々に伝えて、少しでもその人たちの役に立てればと思います。将来は、海外音楽雑誌等のジャーナリストか、日本と海外に関係する会社の広報または広告の仕事をしよと考えています。留学中に履修した広報について、とても興味があり、もっと勉強したいと考えています。広報の基礎については、留学で学んだのでそれを活かし、さらに仕事で学んでいければと考えます。そして、コンピューターの授業で学んだ技術は、どの職業についても発揮できると考えています。コミュニケーションやメディアで学んだことも、どんな職業でも人とコミュニケーションをするときに必要で、さらに、正しい情報を得て、自分の考えを伝えることにも役立てていきます。

留学を考える人たちへのアドバイスとしては、人とのコミュニケーションです。日本では、周りの人が相手の様子から判断し、助けてくれて、何か行動をしてくれます。しかし、海外では自分できちんと発言をして分かってもらわないと何もしてくれません。そして2つ目のアドバイスは、もし学びたいことが決まってい留学するのであれば、その基本知識を留学前に少しでも身につけることです。私はメディアの授業でとても実感したのですが、現地の生徒と私では、育ってきたバックグラウンドも違うし、知っているメディアの内容も違うので、ディスカッションをするときなどに大変でした。しかし、メディアについて少し勉強を事前に行っていたので、授業の内容を理解することがスムーズになり、自分の中での理解度も高くなりました。そして、アメリカの場合は、レポートを書くときにフォーマットを指定されるので、APA や MLA 等について知っておくと便利です。3つ目は、友達をつくることです。単に、多くの友達をつくるのではなく、信頼できて何でも相談できる相手をつくることです。留学中には、自分の中で色々な悩みがでてくると思いますが、その中には自分で解決できないものもあります。なので、このような友達をつくっておくことで、自分のストレスをなくし、より留学を充実させることができます。最後に、4つ目のアドバイスは、タイムマネージメントをしっかりと行うことです。私の留学先の大学でもそうですが、アメリカの大学はリーディングや課題の量が多いです。さらに、課題やプロジェクトの締め切りや、テスト期間等が重なり忙しくなる時期もあります。なので、この場合にすべてを短期間でするのではなく、自分でスケジュール管理をきちんとして、勉強をする時間、リラックスをする時間、そして友達と遊ぶ時間などを決めておくと、焦ることはありません。これらのことをよければ、参考にさせていただいてすばらしい留学体験をしていただきたいです。